

荒川ハンノキプロジェクト&荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物※が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

※：外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物



2019年7~8月 荒川の自然を学ぶ。三ツ又沼ビオトープで荒川の夏を体感。

川島町立つばさ南小学校

7/3 (水) -三ツ又沼ビオトープで、外来植物の抜き取りに汗-

つばさ南小学校の3年生が、地域の自然を学ぶため、三ツ又沼ビオトープを訪れました。外来植物を抜いた後に、荒川の草花のたねをまいたり、ハンノキ林の前で埼玉県の蝶であるミドリシジミについて、あらかわ市民環境サポーターのお話を聞きました。



荒川ハンノキプロジェクト参加校

7/13 (土) -プロジェクトの成果の確認-

「プロジェクトに参加していてもミドリシジミを見たことがない」という児童生徒が多いという声を受けて、ミドリシジミ観察会を行いました。当日は、荒川ハンノキプロジェクトに参加する学校に広く呼び掛けたことで太平中学校科学部、つばさ南小学校の親子有志、埼玉県立川越総合高等学校の有志が集いました。参加者が協力して探した結果、終了間際に金緑色のきれいなミドリシジミ(オス)の個体が観察できました。



しののめキッズパーク保育園

7/13 (土) -園児が荒川の自然と触れ合う意義について学習会-

あらかわ市民環境サポーター事務局より園の保育者や保護者を対象に、園児が自然と触れ合う大切さについてお話しするとともに、身近に残された豊かな自然である三ツ又沼ビオトープについて、生きものなどの写真を見せながら、紹介しました。



上尾市立富士見小学校

7/27 (土) -どんな生きものがいるかな?親子で生きもの探し-

親子有志を対象に、三ツ又沼ビオトープで自然観察を行いました。当日は、あらかわ市民環境サポーターといっしょに生きものを探しながら三ツ又沼まで歩きました。ノコギリクワガタも見られました。今後、自由研究などで活かせるように、ペットボトルを加工して昆虫などを捕まえるトラップについても解説しました。



※：裏面に続きます

上尾市立太平中学校 科学部

8/7 (水) -ミドリシジミの産卵環境について調査-

科学部の生徒が、三ツ又沼ビオトープでミドリシジミのこの夏の産卵状況を調べました。その後、ミドリシジミがハンノキの幹に産卵しやすい環境を整えるために、幹に巻き付くつる植物や下草の刈り取りを行いました。猛暑日でしたが、休憩を取りながらがんばってくれました。



☞三ツ又沼ビオトープで自然と触れ合った体験を、今後の授業やプロジェクトにつなげていってもらえると嬉しいです。 サポーター事務局

いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

2019年8月 荒川の自然や三ツ又沼ビオトープについて紹介。

埼玉県立総合教育センター江南支所

8/9 (金) -高校生が荒川を題材に環境学習-

埼玉県立総合教育センター江南支所が主催する埼玉県内の高校生を対象とした「高校生環境学習講座」が三ツ又沼ビオトープで行われました。室内において、サポーター事務局から三ツ又沼ビオトープで行われている保安全管理活動の話聞いて、その後、実際に三ツ又沼ビオトープに足を運び、課題となっている外来植物の広がりやハチクの枯死した様子を観察しました。

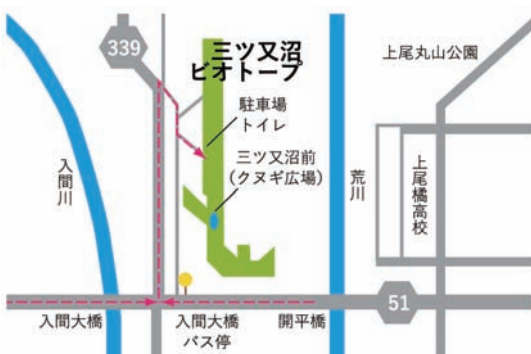


三ツ又沼ビオトープを
知ってもらえて
うれしいケロ



☞当日はとても暑かったので、ずいぶん暑い季節にも是非、三ツ又沼ビオトープに来てみてください。 サポーター事務局

アクセス



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きの方、荒川が好きの方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!